

藝術の秋

文化活動にふれてみよう



義母の書道教室を15年前に引き継いだ坂田ちずえさん(元黒川)。自宅や生涯学習教室で小学生から社会人を指導しています。「自分自身も日々勉強しています」と文化活動にも意欲的。華道や吟道、墨画にも精通している文化人です。



阿蘇は文化豊かな土地

夏目漱石、与謝野鉄幹・晶子夫妻、徳富蘆花など、明治以降、阿蘇の大自然は多くの文豪・文化人を魅了してきました。地域の住民も古くから神楽や虎舞、牛舞などの伝統芸能を継承していることから、阿蘇は古来から文化豊かな土地柄でした。

近年、少子高齢化の影響から、これらの文化的な活動をする人が減少傾向にあります。追い打ちをかけるように、平成28年の熊本地震で国道57号が寸断されたことで近隣の文化ホール等へ足が遠のき、市民が文化に触れる機会も減っています。

文化活動は、生涯にわたっての生きがいや潤いのある生活を与えてくれるだけでなく、郷土愛を深めるきっかけとなります。秋は、阿蘇市内で文化・芸術を楽しめる『神楽フェスティバル』や『文化祭』、『こども芸術祭』などのイベントも開催されます。「趣味を持ちたい」「文化的な活動に興味がある」という人は、この機会に文化に触れてみてはいかがでしょうか。

阿蘇を訪れた文化人



与謝野鉄幹・晶子

与謝野鉄幹・晶子夫妻は、明治から昭和にかけて活躍した文化人です。昭和7年に阿蘇登山をして、「霧の色 ひときは黒し かの空に ありて 煙るか 阿蘇の頂 (鉄幹)」「うす霧や 大観峰によりそひて 朝がほのさく 阿蘇の山荘 (晶子)」など、複数の短歌を詠んでいます。

「不如帰」で当時ベストセラーとなった水俣生まれの作家 徳富蘆花は、明治21年に阿蘇登山をした際の噴火の様子をおどろおどろしく表現した短編「夏の山」を執筆しました。



夏目漱石

夏目漱石は、明治32年に内牧温泉に宿泊し阿蘇登山に挑戦しました。その際に、道に迷った実体験を元に「二百十日」を執筆しています。



徳富蘆花

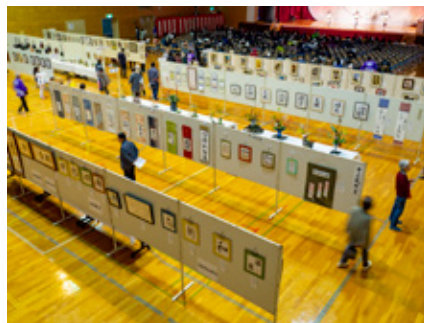
文化活動にふれる秋のイベント情報

第13回阿蘇市文化祭

毎年11月の文化の日に合わせて開催。阿蘇市文化協会の会員たちが日頃の成果を発表する一大イベントです。ステージ・展示部門があり、お茶席を設けたりと阿蘇市の文化が一堂に会する祭典です。

と き 11月2日(土) 午前9時30分～
3日(日) 午前10時～

ところ 阿蘇体育館(内牧)
〒阿蘇市文化協会事務局
☎090-8413-4847(日田)



第14回阿蘇市こども芸術祭

伝統芸能や音楽等の発表を通して子どもたちに地域の素晴らしさを理解してもらうことと、市民の交流を目的として開催。ことしは14団体が出場し、約300人の子どもたちが日頃の成果を発表します。

と き 11月9日(土) 午前9時～
ところ 阿蘇体育館(内牧)

〒教育課社会教育係 ☎22-3229



虎舞



阿蘇市内の成川・竹原・蔵原・狩尾・折戸・永草・古閑・小倉の地域で継承されている、豊作を祝う伝統芸能です。

阿蘇神社に奉納される獅子舞に遠慮して、奉納以外で舞う時に「虎舞」と呼ばれるようになりました。

波野地域の中江区と横堀区には、豊後(大分)地域の影響を受けた岩戸神楽が保存伝承されています。「古事記」と「日本書紀」に出てくる「天の岩戸」の神話を中心に全33座で構成。地元の祭りや県内外での公演のほか、波野小・中学校でも継承活動が行われています。

神楽



阿蘇に伝わる伝統芸能

一緒に活動しませんか？

阿蘇市文化協会

人と文化をつなぎます

阿蘇市内で活動する多くの文化団体によって構成される阿蘇市文化協会は、阿蘇市の文化芸術を盛り上げるために日々活動しています。

「文化」は身近にあり人生に潤いを与えてくれるツールです。文化協会は文化活動に関わる個人や企業、地域をつないで一緒に活動していく団体です。

発表の場を提供

個人で作品を作ったり歌や踊りを練習しても発表の場がなければ張り合いがありません。文化協会では各団体内で会員同士が楽しく活動しており、それぞれの活動の成果を発表する場と

して、各部門や団体ごとに大会や発表の場が用意されているものもあります。

阿蘇市で一番の発表の場となるのは、毎年11月の文化の日に合わせて2日間（11月2日（土）・3日（日））にわたり開催する文化協会主催の「文化祭」です。芸能や音楽、太極拳やダンスなどのステージ発表や、絵画や書道、作り物などは展示ブースに展示されます。

文化活動を始めよう

文化活動に興味がある人は、まずは行動してみませんか。視野を広げれば様々な方法で文化に触れることができます。

ぜひ、皆さんも一緒に文化の秋を楽しみましょう。

会長あいさつ



岩下 哲三 さん
(上役犬原)

私と文化の出会いは古いもので、詩吟を40年、茶道を20年ほど続けており、詩吟の漢文への興味から最近では書道も始めています。

私が考える文化は「楽しむ」を暮らしに取り入れて喜びに変えていくことだと思っています。つまり、日々の生活を充実させ、「人生に彩り」を付けていこうということなのです。

文化というのは遠いものではありません。市民の皆さんにもぜひ多くの文化に触れ、参加・体験していただきたいと思っています。

文化協会に加盟している
団体の分野・部門

展示

絵画、絵手紙、俳句、写真
書道、華道、茶道

パッチワーク、着物リフォーム
押し花、日傘、切り絵

とうきび人形、染色、革工芸
木彫、陶芸

ステージ

詩吟、太鼓、三味線、沖縄三線
民謡、大正琴、琴、尺八、日舞
バレエ、社交ダンス

フラダンス、太極拳、花架拳
3B体操、マジック、コーラス
オカリナ、ギター
ハーモニカ合唱





加盟団体活動紹介

文化協会に加盟している団体のうち、3つの活動を紹介します。ほかにも、活発に活動している団体はたくさんあります。活動に参加したい場合は文化協会事務局までお問い合わせください。



かんぼの宿では、阿蘇写友会の作品を常設展示。10月2日(水)～7日(月)にメガネの大宝堂ギャラリー(熊本市)で、2年に1度、16回目を迎える写真展も開催されます。

阿蘇写友会



竹原 憲朗さん
(宇土)

本会は50年以上の歴史があり、現在は40～80代の会員8人で活動しています。月に1回の例会を開き、撮りためた写真を会員同士が辛口で批評し刺激し合うことで個人の技術を向上させています。また、写真展の開催や年2回の撮影旅行も行っています。
「写真に興味がある」「撮影のレベルを上げたい」など、やる気がある人はぜひ一度例会に遊びに来てください。会員の高齢化が進んでいるので、若い人たちも大歓迎です。



下田さんの自宅で開かれる沖縄三線の練習風景。弾くだけでなく歌うのが基本。文化祭では、始めて3カ月の新人から10年のベテランまで20人がステージで演奏します。

沖縄三線教室



下田 美輪子さん
(小里)

沖縄三線は心地のいい音色を奏でる癒しの楽器です。左手は弦を押さえ右手にバチを持ち楽譜を見ながら歌うので、脳が刺激され認知症予防にも効果的です。生涯学習や自宅の教室で幼稚園児～80代まで約30人を教えています。文化祭での発表のほかに、福祉施設の夏まつりなどボランティアによる演奏活動も行っています。
数時間で簡単な曲を弾けるようになるので、興味がある人はまずは体験入門をお勧めします。



9月14日に開催された第23回観月茶会の様子。文化祭でも2日間にわたり無料のお茶席が設けられます。誰でも参加できるので、作法を教わりながらお茶を体験してみたいのが良いでしょう。

表千家茶道



菅 正子さん
(的石)

毎週金曜日に自宅で8人の生徒さんとお茶の稽古をしています。
茶道は格式が高いイメージを持たれがちですが、難しいものではありません。着物の着付けや美しい言葉使いなど多くの要素を学ぶことができ普段の生活の延長と考えています。表千家や裏千家などいろいろな流派もありますが、作法が少し違うだけでお茶を楽しむことは一緒です。
文化活動は出会いも多く、稽古は交流の場です。続けられるものを見つけて人生を豊かにしてほしいと思います。